



好事例 file. 2

おかとく かぶしがいしゃ

オカトク株式会社

- 所在地：愛知県知多市岡田字向田61
- 業種：綿・スフ織物業
- 設立：1913年
- 電話番号：0562-55-3025
- 従業員数：32名

小さい会社だからできる 良い環境づくり

織物生産の企業として、創業から100年以上を数える「オカトク株式会社」。同社の安藤社長は、常に社員それぞれの様子を観察し、声をかけ、気遣うような形で接して、会社の雰囲気づくりに心がけています。社員との共存を意識する、その姿勢を伺いました。



❁ 織物・繊維で多方面に展開

オカトクは、60種類以上もの多様な織物を生産しています。織機の改造や導入も行っており、近年ではジョイント数を減らして長尺化を図り、産業研磨布（布やすり）分野へ参入したり、多品種の小ロット生産を請け負うなどして、受注先からの好評を獲得。社会のニーズが変化するのに合わせて、柔軟な工夫で事業を盛り上げています。

❁ 生き残ってこられたのはそれなりの規模 だったから

オカトクの社長であり、知多織物工業協同組合の副理事長も務める安藤嘉嗣さんは、繊維業界の現状を見ながら、自社を恵まれていたと表現します。「繊維産業は衰退が早く訪れています。作業としては単純なものが多く、人件費の関係で海外へ出ていったのも早かった。そうして同業者が減っていくと、工場を稼働する前段階で必要な、準備の業者も減って、なかなか工場を動かせなくなっていく。そんな悪循環になってしまったのです。うちは昔から設備投資をそれなりにやっていて、**糸さえあれば業者を頼らず自社だけで始められます**。ここまで続けてこられたのはつまり、それなりに大きかったからでしょう」。



糸巻きから自社で行えるのはオカトクの強みのひとつだ。

❁ 積極的ではなかった人材採用

オカトクで新規採用を行うようになったのはここ5年ほど。安藤社長は、ここ20年は人材採用に積極的ではなかったと話します。「業界が小さくなって、それに応じて事業も縮小していったため、人の採用は必要なかったのです。しかし、そのバランスが5年前ぐらいから崩れました。そこで、従業員や市役所からの紹介があれば、就業体験をしてもらってから、続けられそうなら面接して採用するようにしています。ハローワークではずっと募集していますが、経験者を募集する形になっていますので、数はそれほどありません。しかし同業者は減っていますので、見ればうちしか当たらない、といった状態になっていると思います」。

また、安藤社長は仕事そのものが若い世代に知られていないと指摘します。「若い子は『機屋さん』という仕事自体を知らないという話を聞きます。**だからもっと知らせる方法があれば、もっと来てくれるかもしれません**。若い人のなかには、人と接することが苦手という人もいます。愛想なんかなくて、やることさえやってくれば、こちらはそれで良いのですから」。



人柄の良さがあふれる安藤嘉嗣代表取締役。

❁ 人それぞれを見極め、気長に導いていく

若手の育成について、安藤社長は急ぎすぎず、1人1人と向き合っていると話します。「人間のことでですから、一律に言えるコツみたいなものはないと思います。でも**働いている様子はいつも気にしています**。体調を気にするだけでなく、様子がおかしく見えたら、周りに聞いたり、直接声をかけたりしています」と。

また、採用について重視しているのは性格だと続けます。「**素直であることを重視**しています。技術的な難しさはありませんから、素直に聞くことができれば、やがてできるようになります。また、時間をかければ誰でもできるような仕事ですが、仕事としては、速く正確にできるようになってもらわないといけない。一人前になるには、簡単な部署でも1年ぐらいかかりますし、会社としては3年ぐらいは持ち出しです。そうしたことも面接で話して、その反応を見ている」。

❁ 今の目標は、働く人が笑っていられる環境

2013年に100周年を迎えたオカトク。4代目にあたる安藤社長は、現在の目標について「**働く人が笑っていられるようにありたい**」と話します。「うちは特殊な技術はなく、新しい機械もありません。しかし、いろいろな仕事をやっているの、そうそう枯れることはない

し、やりようで可能性もあります。仕事自体は、決して面白いものではありません。各々で面白さを見出してくれば嬉しいですが、こちらが言って興味を持てるものではありません。だからこちらができることは、**会社の雰囲気を良くすること**だけです。小さな会社の特権ですよ。1人1人に声をかけて、過度なストレスを与えないようにする。最近の若い子の中には、過度な責任をストレスに感じる人もいるように思います。それぞれの人を見て、それに合わせて接することが大切だと思っています」。



24時間3交代制で工場を運用。残業は自由としている。「責任感の強い人は頑張りすぎてしまう。そこに甘えず、感謝を欠かさないように」と安藤社長。

interview

若者インタビュー



仕上げ部 **新海恵里佳**さん

社長の社員への思いやりを感じる

新海さんは、高校卒業後にパートとしてある工場で働き、社員待遇を求め正社員へ転職。事務職に就きましたが、その会社では定時後のサービス残業が常態化していたため再び転職を決意し、オカトクへ7年ほど前に入社したそうです。

「接客が苦手で、工場で働きたいと思ってハローワークで探し、オカトクを見つけました。応募して3ヶ月の試用期間を経て、良い人ばかりだと思って。私は、業務内容は覚えていくしかないと思っていましたから、**人間関係を重視**していました。正社員として雇ってくださるというのも大きかったですね」と新海さんは当時を振り返ります。

入社以来、仕上げ部の一員として働き、今では新人の育成を担当することもある新海さん。彼女が感じる会社の魅力は、社長本人を



はじめとする人間関係の良さだと話します。「ミスがあっても、**ミスをした本人の立場になって、一緒に原因を考えてくれる**社長です。また、有給や仕方ない欠勤で嫌な顔をする人はいないし、残業しろとは言わないけど、稼ぎたいれば残業できる環境です。入社して本当に良かったと思います」と。新海さんも今、素晴らしい人間関係を構成する一員として、オカトクに愛着を感じている様子です。

